

新文化会館 管理運営ワークショップ かわら版 -第4号-

【作成・発行】
鶴岡市教育委員会
社会教育課芸術文化係
(電話：0235-57-4867)
平成 27 年 3 月 12 日

「市民参加・市民参画を考える」



平成 27 年 2 月 21 日、鶴岡市勤労者会館の 1 階大ホールで、今年度 2 回目となる新文化会館管理運営ワークショップを開催しました。今回は市民 22 名（男性 15 名、女性 7 名）、鶴岡市文化会館管理運営実施計画アドバイザー会議から草加叔也総合アドバイザー、地元アドバイザー 3 名、市事務局から 8 名の合計 34 名が参加しました。

今回は「市民参加・市民参画を考える」をメインテーマとし、草加叔也総合アドバイザーのミニレクチャーに続いて、「友の会（鶴岡らしい友の会制度とは？）」、「市民サポーター（文化会館運営協力のために一歩踏み出してもらうには？）」、「市民参加事業（主催事業にたくさんの市民に参加してもらうには？）」の 3 つを取り上げて、市民のみなさんとグループワークを行いました。

ミニレクチャー「新しい文化会館が目指す、市民参加・市民協働に向けて」（草加叔也総合アドバイザー）

※ミニレクチャーの中から「市民参加・市民協働の可能性と分類」の部分について、ご紹介します。

『市民参加・市民協働の可能性と分類』ということで、いくつかに分けて分類してみました。

1 つ目が『市民活動』です。これは市民がこれまでどおり、市民の自らの意思で行う自主的な活動を、新たな文化会館でも継続的に行うことを指します。市民が集い、文化芸術を鑑賞する機会を提供し、賑わいを創出するということです。これは特に文化芸術を鑑賞する機会だけでなく、様々な練習やボランティアなどの活動もあるかもしれません。そういったことを新たな文化会館でも行うことによって賑わいを創出していくということになると考えます。活動の根源は「市民活動」だと考えてください。

もう少し進んで『市民参加』ということになると、2 つのことが考えられます。1 つ目が「事業への参加」です。事業というのは活動という言葉に置き換えても良いと思います。これは、新たな文化会館が主体となって行う事業や活動に市民が参加し、市民相互の交流や発表を通して鑑賞を行ったり賑わいを発信していくということです。少なくともここでは「市民参加」ですから、どちらかといえばプログラムは文化会館で準備し、それに皆さんが参加していく。少し受動的かもしれませんが、まずインターフェイスとして、一番参加を促しやすい方法として事業への参加ということがあげられます。

それからさらに進むと「運営への参加」ということが考えられます。これは、新たな文化会館を運営・管理していくために必要な活動や作業に市民が参加し、支援をするということです。例えば、もぎりでお手伝いしましょう、客席案内をしましょうということなどが、この運営や管理への参加ということです。皆さんは色々な能力を持っています。例えば、外国語を喋れるということも能力だと思います。それから法律の用語を知っている、そういう手続きについても知っている、書道がすごく上手いということも能力です。会場整理の経験があるということも能力です。文化会館というのは色々な能力が集まって出来ています。ぜひ個人が持っている能力を活かして頂きたい。その場としてこういう「市民参加」が考えられます。また、「市民参加」を通して文化会館の中で行われている活動や事業を、皆さんは内側から見ることも知ることが出来ます。「市民参加」をすることで、どんな運営や活動、事業をやっているのか、どんな管理をしているのかということ、客席側からだけではなく見ていただき、知っていくということを通して、文化会館が市民にとって大切な財産になっているのかどうかということを知る上で、重要な活動になるだろうと思います。

もっと積極的に進むと『市民参画』ということが考えられます。市民自らが活動や事業を企画し、新たな文化会館を拠点として企画、創造、発表の過程全てを行っていくということです。与えられたプログラムに参加することだけではなく、市民自らが企画・運営し、そして鑑賞してもらうということをしていくことが出来ると思います。

最後に『市民協働』ということも考えられます。「一体的な協働」と「主体的な協働」です。「一体的な協働」は、市民が新たな文化会館に必要な業務や事業の一部を、運営の主体となる組織と協働で行っていくということです。前にも少しお話ししましたが、文化会館の事業評価をやっていくということも「一体的な協働」の一つと言えるかもしれません。それから「主体的な協働」というのは、もっと積極的に、市民が新たな文化会館を管理運営するための主体となり、施設設置者である鶴岡市と協働する。公設民営となる協働ということも考えられます。施設そのものを市民が主体となって運営していくというのが究極の協働かもしれません。全国に約 2,200 の公立の文化施設があるのですが、今、市民が作った NPO で運営している施設が、全国には 70 施設くらいあります。必ずしも鶴岡市が整備しているような大きな文化施設ではないかもしれませんが、そういうことを積極的にやろうとしている市民もいらっしゃるということです。』

【草加叔也 氏 プロフィール】

劇場・ホールなど演出空間を中心に、基本構想から施設・管理運営計画の策定などに携わる。

これまで、新潟市芸術文化会館、可児市文化創造センター、神奈川県芸術劇場 (KAAT) など全国各地の劇場づくりに関わるとともに、技術監督等として直接上演活動にも携わる。

- ・(有)空間創造研究所 代表取締役
- ・公益社団法人全国公立文化施設協会 公立文化施設活性化事業アドバイザー



ワークショップで出されたご意見を全てご紹介します

皆様のご意見は付箋に書き込み、各グループで以下のワークシートにまとめました。

ここでは付箋に書かれた内容を、グループ別にご紹介します。

第2回 新文化会館管理運営ワークショップ ～市民参加・市民参画を考える～ H27.2.21(土)		
グループ 1		
鑑賞者の段階 鶴岡らしい友の会制度とは？ 友の会	協力者の段階 文化会館運営協力のために一歩踏み出してもらうには？ 市民サポーター	主体的参加の段階 主催事業にたくさんの市民に参加してもらうには？ 市民参加事業

メインテーマ「市民参加・市民参画を考える」

【友の会】 * 鑑賞者の段階

鶴岡らしい友の会制度とは？

【市民サポーター】 * 協力者の段階

文化会館運営協力のために一歩踏み出してもらうには？

【市民参加事業】 * 主体的参加の段階

主催事業にたくさんの市民に参加してもらうには？

グループ1



グループ1 ワークシート

草加アドバイザーから、グループ1の発表へのコメント

普通に考えれば、入り口となる友の会から考えていくところを、市民参加事業から考えていき、それを踏まえて友の会はどうあるべきかと考えていく。これは大変に面白い発想だと思います。それから、収入をどう増やしていくのか、運営組織の自己財源率をどう高めていくのか、独自にコミュニティファンドを持って、それをどう活かしていくのか。こういうことは、市民参加の中ではあまり議論されないことなのですが、そういった視点があることは大変良いことだなあと考えさせられました。

友の会

- 【コミュニティ】 文化会館コミュニティの形成
- 【カルチャー・スクール】 カルチャー友の会
- 【フランチャイズ】 会館使用料が割引となる、フランチャイズ団体の友の会化
- 【公演支援】 自主事業の支援としての友の会化/チケットの先行販売
- 【街づくり】 文化会館と商店街とを結ぶ友の会制度(サポーター)/チケット割引(飲食とも)
- 【情報発信事業】 情報発信
- 【その他】 友の会会費のリターンとしての配当、プレミアム(クラウドファンディングのような支援)/使用料の割引

市民サポーター

- 【カルチャー・スクール】 市民によるカルチャーのインストラクター参加(サポーターとして)
- 【フランチャイズ】 アーティスト団体と市民をつなぐ役割が文化会館としての事業企画
- 【交流】 ふるさと納税のような市外在住の市民サポーター/江戸川区、鹿児島との交流
- 【街づくり】 市民サポーター、スタンプ制で恩恵あり
- 【情報発信事業】 情報誌の発行/FM局の常設、地域の事業者によるサポート(スポンサー)
- 【学校】 学校の部活のサポーター(父母会など)との連携・協力

市民参加事業

- 【経営(管理)参加】 市民の経営参加という視点でのコミュニティファンドの造成とそのファンドの使い道としての収益事業(カルチャースクール、劇団、ラジオ局)/少しでも公費負担を少なくして自立を目指すようなサポーター組織
- 【カルチャー・スクール】 カルチャー事業の展開/舞台美術ワークショップ主催
- 【公演支援】 文化会館を例会場にする団体のコミュニティを造成して、そのメンバーによるボランティア(サポーター化)
- 【情報発信事業】 会館に行くと鶴岡市の情報が分かる/自主公演
- 【観光、交流推進】 致道館と文化会館との使用(つなぐ)/民間会社の参加事業/アートフォーラムと連携

グループ2



グループ2 ワークシート

草加アドバイザーから、グループ2の発表へのコメント

友の会を、出演者側と鑑賞者側の2つに分けて考えたことは、重要な視点だと思います。それから、市民参加の中で、舞台技術に関わる人材、裏方・サポーターといった人材育成、市民参加を通して人材育成をやっていこうということが重要だと思います。友の会という、どうしても参加する人が満足するというのが大きなポイントになるのですが、文化会館の活動がサスティナブル(sustainable. 持続可能)になる、継続していくような仕組みを作っていけるように、人を育てていこうという考え方は重要な視点だと考えます。

友の会

- 【会費 2、3千円か】 友の会会員費 2~3,000円。チケット料金の割引/会費 2,000円。目標会員数の確保/会費の納め方。会費(2~3,000円)、事業状況(年間)/若い人に会費割引(ジュニア会員、U-30会員)
- 【運営】 友の会設立委員会/友の会事務局を市民サポーターで。心をこめた対応
- 【会員交流】 友の会のオフ会として会館(カフェ)にて交流会の開催/ジャンル別での友の会は成立するか/会員は全国に
- 【特典】 定期的にアンケートをとって希望者多数の方を呼べるようにはたらきかける
- 【特典(サービス)】 バースデーカードの発送(会員の方)/バックステージパスの発行/リハーサル状況を見ることが出来る
- 【特典(割引)】 友の会オリジナルバッジ(着用で飲食店の割引等)/友の会割引制度の活用(会費(年度)を納入し回数によって特典(開館当初でも良い)/全ての事業で割引があると高くてもOK/カフェの割引
- 【特典(情報)】 先行予約(チケット)/友の会員情報の提供(会報、公演情報、メール)/定期季刊誌発送/メールでの発信(定期)は必ず

市民サポーター

- 【組織】 市民ボランティアを市広報で募集する(会場案内、会場見学、事務的なお手伝い)/中・高・大学生など若者の参加/会員制(登録)/得意分野別に分ける/市民の能力、分野等を登録しておく組織づくり(情報流出にならないように注意する)
- 【建築】 工事中の写真パネル展、DVDの上映→ボランティアガイド/建築ガイド、できれば訪問者に記念品を売り、運営費にまわしたい/ミュージアムショップでの商品企画「妹島グッズ」/建築案内ボランティアガイド
- 【食】 ギフト販売(ショップ、通信)/郷土食レストラン/食文化。カフェに奥田シェフより考えてスイーツに郷土食豊かなものを発明する/サポーターとして食材を提供、カフェのメニューに
- 【実務サポート】 もぎり、客席案内、かっこいいスタッフジャンパー/観光ボランティアガイドが視察者に対応するか、別に担当者を/各種公演の受付で、もぎりのアルバイトを使えないか/情報誌作成/会場案内担当、もぎり担当(会員として登録)/駐車場の案内/鶴岡市の広報に毎月案内/有償ボランティア(通訳、案内係)/情報収集、整理ボランティア(新聞切り抜き、他館の情報等)/法人(組織)or個人との契約/バースデーカードを作る

市民参加事業

- 【市民同士のコラボ】 広範なコラボレーション公演/主催事業に大いに参加する。運営委員会をつくり、常日頃集まって状況を知り会議する/芸文協の団体合同公演
- 【育成】 幼、小、中、高で継続的募集/音楽劇等/若い人を育てる、市民ミュージカル
- 【裏方】 スタッフを育てる(鶴岡独自のスタッフ)。照明、音響、その他裏方の仕事をする人を独自で育てる/情報誌を県内の市町村にも発送
- 【利用法】 ホールの公演日以外の利用がしやすい設計。最大限に活かしたい/お祭りその他、鶴岡公園やアートフォーラムの企画とからめ、開放する

グループ1



グループ2



グループ2



グループ3



グループ3 ワークシート

草加アドバイザーから、グループ3の発表へのコメント

市民サポーターの中に情報発信部を作る。こういう活動というのは、市民参加活動として大変に重要なことです。情報発信を市民が担い、さらにそれを市民に伝えていくということも重要な視点だと思います。それから、カフェを運営していこうという点についてです。カフェというのはどうしても、こういう施設の中では、目的外使用の施設に切り分けられるのですが、カフェはそもそも人が集まるという施設機能としては、目的施設だと考えます。それを市民が自ら運営していこうというのも、人が集まる仕掛けとして大変に面白いことだと考えます。

友の会

- 【多くの市民から加入を】 全世帯から加入してもらおう/学生は安価(無料)で入れる/個人だけでなくサークルでも登録できる
- 【会員、鑑賞者特典】 会員特典、加盟店で割引/チケットに半券クーポンを付ける/チケットの半券を見せるとカフェ等で割引がある
- 【会報】 友の会会報(年4~6回発行。情報催し案内。要望等)/ファンクラブを作る、会報発行
- 【ネットの活用】 ネットで申し込み/館の空き情報を配信
- 【寄付、ふるさと納税】 寄付制度を使って減税になる/ふるさと納税の特典に新文化会館友の会員を入れて、魅力ある公演チケット(宝塚、クラシック、歌舞伎)をさしあげる又は半額に
- 【その他】 練習場をチケット制にして前売りする/貸館料金割引(会員割引、直前割引)

市民サポーター

- 【高校生の特技を提供】 高校生に新聞を作ってもらおう/高校生の特技を提供してもらえないか。高専、工業校生-PCの特技でロビーの映像作成、機関紙作成
- 【フリースペース】 市民が気軽に集えるフリースペース/エントランスに机と椅子/カフェ、勉強コーナーをつくり中高生が気軽に入れるような場所にする(図書館分室として雑誌を置く)
- 【ボランティア、特典】 会場係、ケータリング、もぎり/ボランティアスタッフさんには年1本~2本鑑賞できるチケット/駐車場、もぎり、ケータリングなどのボランティアを育成し文化会館コイン(→チケットに替えられるもの)をお礼に払う/ボランティアポイントがついてコンサートがきける
- 【個人、業者登録】 登録業者制度/個人で得意分野を申請して登録(データベース化)
- 【情報発信部】 情報発信部を作る/館・ホームページか・ペーパーで、実施した事業(貸館も)を写真付きで紹介する(アーカイブ)
- 【その他】 年間3本事業を鑑賞すると特典がある/練習場マップを作る(空き家を練習場に)/コンサートのときにロビーで物販

市民参加事業

- 【プレゼンで事業を】 プレゼン大会/新文化会館記念事業をオーディションで決めて、参加者を募集する。練習開始(クラシック・ポピュラー・演劇・ミュージカルなどの分野別に)
- 【カフェ運営に参加】 民間でカフェ運営、ホール以外の一般開放(特定の団体に限らない)/カフェは民間が運営する/夜はバーにする
- 【ロビー等を貸出】 ロビーや通路などのスペースも稽古場として使えるようにする(使える範囲で)/ロビーでプチコンサート常に受け付ける
- 【その他】 コミュニティ FM の運営/企画運営は大切な事なので市民代表に入って考えてもらう/民間業者、NPOに運営を委託する



グループ4



グループ4 ワークシート

草加アドバイザーから、グループ4の発表へのコメント

友の会事務局を市民自らが運営をしていくということがあるかもしれません。例えば、情報処理学科のようなものを持っている大学や高校とタイアップして、いわゆるDMを出すだけの機関ではなくて、市民や観客に関する情報処理が可能となりマーケティングというレベルのことが行えるようになるかもしれません。それから、事業とインセンティブ。収入を得て、それをどう分配していくのかということ。さらにそれを未来への再投資を考えていくということは、これまでは市民参加で考えることではなかったかもしれません。本来は施設自身が考えていかなければならないことかもしれませんが、そういうアイデアが出るというのが、きっとこの鶴岡という街の成熟さだろうと思われました。

友の会

- 【サービスの充実】 会費 1,000 円～2,000 円。文化・芸術の情報(全国・地元)、プレイガイドの販売/致道博物館、風間家などの優待をセットにする/有料会員…チケット先行予約、情報誌(メルマガ、郵送)。無料会員…メルマガ配信のみ/有料会員、市内のお店の優待券(提携・広げる)
- 【拡大】 ファン/営業する人がいる/お友達紹介キャンペーン/潜在的鑑賞者の勧誘/ジュニア、シルバー、学生、ファミリー、法人/小・中・高校生。部活動単位でのかかわり/連絡協議会。幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校、大学(各組織・連携)/学校との協力、単位認定など
- 【事務局】 友の会の事務局。運営方法、金銭的裏付け/友の会事務局は市民主体で
- 【企業】 企業のスポンサーを募る→ジャンルを超える。公設→民営へ/特別会員(スポンサー)1万円、10万円

市民サポーター

- 【発信】 情報誌(編集・発行)、ホームページの作成(日記・活動報告など)/なじみのないジャンルについての情報共有
- 【福祉的】 送迎(身体不自由)/通訳/言語フリー/案内・補助機能の充実/ボランティアのシーズとニーズを公開(集約、事務局)
- 【育成】 組織化(役割毎)/各種スタッフ養成講座/当初は芸術分野別にサポート出来る団体に対して要請する(照明、チケット)/高校生のサポーター活用
- 【還元】 還元は全て文化会館限定通貨で/お手伝いをする地域通貨、割引券プレゼント/ポイント制にして(協力実績による)特典を与える
- 【企業】 地元企業が本業を生かして貢献
- 【その他】 館内の装飾・花壇の手入れ/時間 or お金(を提供する)

市民参加事業

- 【掘りおこし】 オーディションコンテスト→自主事業の出演者/ワークショップ。出演者、スタッフの確保/バンドオーディション→文化会館専属バンド→事業参加、盛り上げ協力、演奏
- 【ショップ、カフェ】 文化会館ショップ(ミュージアムショップのような)、鶴岡グッズ(ゆるキャラも)/市民運営カフェ/文化会館ショップ
- 【ロビー活用】 市民音楽家の演奏協力。例. 英国ナショナルシアター/ロビーコンサート(加わるチャンス)
- 【クロスオーバー】 犬猫の里親探しとのコラボ、アニマルセラピー、犬猫好きな人も呼び込む/絵画展・書道などをロビーに募集する/ロビー活用、展示会(絵画、写真、盆栽)/予告放映、デジタルサイネージ/趣味別(ジャンル別)、お茶飲みの会、テレビ等鑑賞
- 【イン】 バスで集客、輸送、山間部の地域芸能のPR 他、交流/市、郷土芸能祭/地域のしし舞を一堂に集め大公演
- 【アウト】 投票によって観たい文化会館での演目を地域に出前する/旧町村部へのアウトリーチ。例. おでかけアリオス/文化会館に来れない人々への出前公演
- 【再投資】 事業が成功したら(黒字)参加者に還元。参加者へのインセンティブ/3分の1還元、3分の1返済、3分の1再投資
- 【子ども】 子供達にとって敷居の低いもの/多目的ホールの活用で子供達の参加/親子劇場、市民劇場との連携、組み込み
- 【その他】 除雪ボランティアで雪灯ろうなど作り明るく照らす/「やりたい！」を実現/事業プレゼン大会/音・事故、声・大きさ(トラブル対応)/トラブル、文化の必然/自由度はどこからどこまで、決定権/ポジショニング MAP1(お金かかる(収益性低)→お金かからない(収益性高)、すぐできない(遅い)→すぐできる(早い))/ポジショニング MAP2(できない→同時にアイデアが解決できる)